

@Lib

市立図書館のこれまでとこれから	p. 1
創立90周年事業／講座・講演会	p. 2
テーマ展示／おはなし会	p. 3
ぐるっとYOKOHAMA図書館めぐり 第12回南図書館 ／@Libミニブックリスト(34)「紙芝居の魅力」	p. 4
ホームページ http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/library/	2011年6月号

 横浜市立図書館は、今年創立90周年を迎えます。

市立図書館のこれまでとこれから

5月号特集「野毛の図書館」の誕生まで」に引き続き、市立図書館のあゆみを振り返るとともに、現在の市立図書館の取組をご紹介します。



■野毛図書館1館の時代

1927(昭和2)年に横浜市図書館(通称“野毛の図書館”、現中央図書館)が開館した後、市内に図書館が1館の時代が長く続きました。

そんな中、1954(昭和29)年に10人以上の地域や職場のグループを対象とした団体貸出を開始し、1970(昭和45)年には、移動図書館はまかぜ号が市内の団地などの駐車場26か所の巡回を開始し、多くの利用者で賑わいました。

←はまかぜ号の巡回が始まった当初の頃。はまかぜ号の本棚に集まる人たち。



■地域図書館の整備と中央図書館の開館

1974(昭和49)年、市内に2番目の図書館として磯子図書館が開館。その後、1区1館ずつ図書館の建設が続けられ、1994(平成6)年の中央図書館、1995(平成7)年の都筑・緑図書館の開館で現在の18館となりました。

※磯子図書館はその後1999(平成11)年、磯子区役所総合庁舎地下1階に移転しました。

←磯子図書館の様子(1978年) 資料提供:横浜市史資料室

■市立図書館のこれから

そして今、市立図書館では、図書館サービスを取り巻く環境変化や新たな課題に対応するため、次の各プランを策定し取り組んでいます。各プランの内容については市立図書館ホームページ(<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/library/unei.html>)でご覧いただけます。

「横浜市立図書館司書人材育成計画」2010(平成22)年9月策定

「横浜市立図書館アクションプラン」2011(平成23)年1月策定

「蔵書再構成5か年計画」2011(平成23)年3月策定

「横浜市立図書館児童サービス5か年計画」2011(平成23)年3月策定



←現在の中央図書館